

熊本学園大学 体育系サークル(学生・指導者) 安全管理ガイドブック

UNIVAS SSC認証 第60号会員

令和7年9月発行
熊本学園大学 スポーツ振興センター

目 次

1. はじめに	3
2. UNIVAS SSC認証について	4
3. 安全管理体制	5
4. 主将・主務・指導者の役割	6
5. 平常時の安全対策	7
6. 【緊急】連絡先一覧	8
7. 【緊急】事故発生時の対応	9
8. 事故レベル別対応フロー	10
9. 事故発生後の手続き	11
10. 連携体制・研修について	13

1. はじめに

スポーツ振興センターでは、体育系サークルの活動を安全・安心に行えるよう、「熊本学園大学体育系サークルにおける安全・安心マニュアル」(令和7年8月1日制定)を策定しました。

このマニュアルには、「平常時の対応」「事故発生時の対応」「事故発生後の対応」など、活動に必要なポイントを整理しており、体育委員会に所属するすべての体育系サークルに適用されます。

あわせて、本ハンドブックではマニュアルの内容をより詳細かつ分かりやすく解説しています。スポーツ活動の環境を整え、学生や指導者の皆さんのが安全を最優先に活動できることを目的としています。

⌚ このガイドブックの対象者

- ・ サークル員:日常の活動における安全意識の向上
- ・ 主将・主務:事故対応担当者としての責任と役割
- ・ 指導者の皆様:専門的な安全指導と事故対応責任者としての役割

⌚ 記載内容のポイント

- ・ 緊急時の連絡体制:誰でも迅速に対応できる連絡先と手順
- ・ 事故レベル別対応:状況に応じた適切な判断基準
- ・ 立場別の責任範囲:学生・主将・主務・指導者それぞれの役割
- ・ 日常の安全対策:事故を未然に防ぐための具体的な方法
- ・ 大学との連携:スムーズな情報共有とサポート体制

スポーツ活動において最も重要なことは「事故を未然に防ぐ」ことです。しかし、万が一の際には、冷静かつ迅速な対応により被害を最小限に抑えることが求められます。

⚠ 重要なお願い

- ・ **このガイドブックを手の届くところに**:緊急時にすぐに参照できるよう保管してください
- ・ **定期的な確認**:安全管理の知識を常に最新の状態に保ってください
- ・ **チーム内での共有**:全員が同じ認識を持てるよう情報を共有してください

ご不明な点がございましたら、遠慮なくスポーツ振興センター(096-364-8732)までお気軽にお問い合わせください。

皆さん一人ひとりの安全意識により、充実した大学スポーツライフを築いていきましょう。

2. UNIVAS SSC認証について

UNIVAS SSCとは

UNIVAS SSC(Safety and Security Certification)は、大学スポーツにおける安全で安心な活動環境を確保するため、一般社団法人 大学スポーツ協会(UNIVAS)が制定した日本初の安全認証制度です。

本学の認証取得

- 認証取得日:令和7年9月1日
- 認証番号:第60号
- 認証期間:3年間(更新制)

認証取得による効果

1. 安全管理体制の強化

- ・ 体系的な安全管理システムの構築とリスク管理
- ・ 責任者の明確化
- ・ 定期的な安全研修の実施

2. 専用補償制度の適用

- ・ SSC認証校専用の補償制度が適用
- ・ 学生および関係者への手厚い保障
- ・ 事故発生時の迅速な対応体制

3. 組織運営力の向上

- ・ 透明性の高い組織運営
- ・ ハラスメント防止体制の強化
- ・ 継続的な改善サイクルの確立

3. 安全管理体制

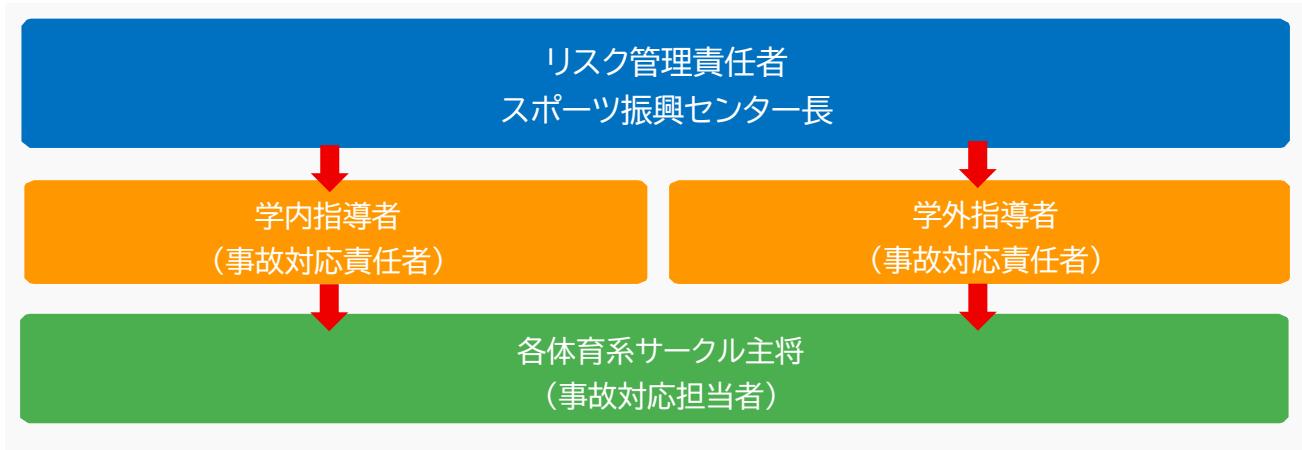
役職	責任者	主な責任
リスク管理責任者	スポーツ振興センター長	<ul style="list-style-type: none">・ 全体的な安全管理統括・ 事故対応の最終責任・ 安全管理の方針の策定
事故対応責任者	各サークル監督・コーチ (学内・学外指導者)	<ul style="list-style-type: none">・ 現場での事故対応統括・ 学生への安全指導・ スポーツ振興センターとの連携
事故対応担当者	各サークル主将	<ul style="list-style-type: none">・ 現場での初期対応実施・ 部員への安全意識向上・ 事故情報の報告

体育系サークル指導者・主将・主務の位置づけ

主将・主務は事故対応担当者として、指導者の皆様は事故対応責任者として、以下の対応を心がけてください。

- ・ 活動中の参加者の安全確保
- ・ 事故発生時の適切な初期対応
- ・ スポーツ振興センターへの迅速な報告
- ・ 研修への参加(推奨)

連携体制図



4. 指導者・主将・主務の役割

1. 専門的なリスク管理

- 各競技における技術的安全な練習内容の実施
- 競技特性に応じたリスク管理
- 適切な技術習得のための段階的練習

2. 技術指導における安全配慮

- 学生の技術レベルに応じた指導内容の調整
- 無理な技術習得の強要禁止
- 怪我のリスクが高い技術の慎重な指導

3. 事故発生時の対応

- 適切な初期対応の実施
- スポーツ振興センターへの迅速な報告(場合によっては主将や主務を通じて)
- 救急隊との連携

活動前の確認事項

確認事項	具体的な内容
参加者の体調確認	<ul style="list-style-type: none">体調不良者の把握怪我の既往歴確認当日のコンディション確認
環境条件の確認	<ul style="list-style-type: none">気温・湿度の確認施設・設備の安全点検用具の点検
救急体制の確認	<ul style="list-style-type: none">救急用品の準備確認AEDの場所確認緊急連絡先の確認
指導計画の安全性確認	<ul style="list-style-type: none">当日の指導内容の安全性確認怪我等のリスクの高い練習の事前の検討代替案の準備

禁止事項

- 体調不良の学生の無理な参加強要
- 技術レベルを超えた危険な指導
- 適切な安全措置なしでのリスクの高い練習
- ハラスメント行為

5. 平常時の安全対策

1. リスクの洗い出し
・ 毎年1回、事故・リスク一覧を更新
・ 過去の事故事例の分析と対策検討
・ 競技特性に応じた危険要因の特定
2. 施設・設備の点検
・ 指導前の安全チェック実施
・ 用具の安全性確認
・ 危険箇所の早期発見・報告
3. 保険加入の確認
・ 参加者の保険加入(スポーツ安全保険・付帯学総等)状況の確認
・ 適切な保険内容の確認
・ 未加入者への加入推奨
4. 研修の受講
・ UNIVASが開催する安全管理セミナーへの参加
・ ハラスメント防止研修の受講
・ 本学主催の安全講習会への参加

日常的な安全管理チェックリスト

チェック項目	実施頻度	確認内容
学生の体調確認	毎回	体調不良者の確認・記録
施設の安全点検	毎回	危険箇所・破損の確認
用具の点検	毎回	破損・劣化の確認
気象条件の確認	屋外活動時	熱中症リスク・雷雨の確認
救急用品の確認	週1回	応急処置用品の補充・点検
緊急連絡先の更新	チーム体制変更時	学生・指導者の連絡先の確認

事故情報・事例の共有

スポーツ振興センターから提供される以下の情報を必ず確認してください

- ・ 学内の事故発生状況
- ・ 競技団体等からの事故情報
- ・ 他大学での類似事故事例
- ・ 季節・時期別の注意事項

6. 緊急連絡先

生命に関わる緊急事態

119(救急・消防)

連絡先	電話番号	対応時間・備考
スポーツ振興センター	096-364-8732	平日 8:45-17:15 (事故報告・相談) ※上記以外の時間帯は大学代表(096-364-5161)へ
大学保健室	096-362-4876	平日 8:45-17:15 (軽度の怪我・体調不良) ※上記以外の時間帯は大学代表(096-364-5161)へ
救急相談センター	# 7119	24時間対応・救急車要請の判断相談

近隣医療機関

医療機関名	電話番号	診療科目・特徴
すどう・きたの医院	096-364-3635	一般内科・外科
川原整形外科	096-362-2400	整形外科専門
くまもと内科クリニック	096-342-4388	内科診療

重要！連絡時の注意事項

- 冷静に状況を伝える
- 場所・時刻・負傷者情報を明確に
- 指示を最後まで聞く
- 電話を切るタイミングは相手の指示に従う

休日等の緊急事態

- まず119番通報を行い、その後スポーツ振興センターへ報告をお願いいたします。
※学外指導者の皆様は、状況に応じて学内指導者または主将からの連絡でも可能

7. 【緊急】事故発生時の対応

基本原則

- ・ 冷静な判断:パニックを起こさず、状況を正確に把握
- ・ 迅速な対応:適切なレベル判定と速やかな処置
- ・ 二次被害防止:他の学生の安全確保情報伝達:正確な情報の速やかな報告

事故発生時の行動フロー

1. 怪我人の状態確認



2. 事故レベルの判定



3. レベル別対応の実施



4. 関係者への報告

救急車を呼んだ時の役割分担

- 負傷者対応:5~6人
- AED・救護資材確保:1~2人
- 記録係:2人(時系列、情報をまとめる)
- 救急車誘導:1~2人(警備員と連携)
- 学内連絡:1~2人(保健室・職員・教員)

注意事項

- 負傷者を一人にしない
- 無理な移動は避ける
- 意識のない負傷者には声をかけ続ける
- 周囲の学生の動揺をなだめる
- SNS等に情報を投稿しない

8. 事故レベル別対応フロー

レベル1: 軽傷(状況:歩行可能・意識明瞭・擦り傷や軽い捻挫など)

対応手順

1. 応急手当の実施(傷口の清拭・消毒、必要に応じて冷却、包帯・絆創膏での処置)
2. 保健室への連絡・搬送
3. 経過観察(症状の変化を注意深く観察、悪化の兆候があれば上位レベルの対応に移行)
4. 競技復帰の判断(本人の状態確認、無理な復帰は禁止)
5. 大学への報告

レベル2: 中程度(状況:歩行困難・骨折の疑い・頭部や首部の受傷)

対応手順

1. 119番通報の検討(症状の重篤度を判断、迷った場合は#7119に相談)
2. スポーツ振興センターへ即時連絡
3. 応急処置の実施(骨折部位の固定、頭部受傷時は安静保持、バイタルサインの確認)
4. 保護者への連絡
5. 医療機関への搬送準備
6. 事故発生報告書の作成・提出(即時)

レベル3: 重傷(状況:意識なし・呼吸なし・大量出血)

対応手順

1. 即座に119番通報
2. 救命処置の実施(心肺蘇生法(CPR)、AEDの使用、止血処置)
3. スポーツ振興センターへ緊急連絡(平日以外は大学代表へ)
4. 救急隊との連携(救急隊の誘導、状況説明の準備必要書類の準備)
5. 保護者・家族への連絡
6. 他の学生への配慮(現場からの退避、心理的ケア)

判定に迷った場合

より重篤なレベルとして対応する。

「様子を見る」よりも「安全側に判断」することが重要。

9. 事故発生後の手続き

報告義務

事故レベル	報告期限	提出書類
レベル3(重傷)	即時報告	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生報告書(別紙5) 原因究明・再発防止策検討シート(別紙6)
レベル2(中程度)	即時報告	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生報告書(別紙5) 原因究明・再発防止策検討シート(別紙6)
レベル1(軽傷)	サークル内で共有	<ul style="list-style-type: none"> 指導者への報告 事例をサークル内での共有

事故発生報告書の記載事項(別紙5)

(別紙5)

事故発生報告書 (第____報)

詳細	
事故発生日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分
事故発生場所	施設名(住所)、発生場所
事故の内容	事故の詳細、経緯 負傷者の有無、程度 負傷者(有・無) → 有の場合、()名
事故の経緯	時 分 (事故発生) ※「いつ、どこで、誰が、どうした」を明記すること 時 分 (発見) 時 分 (通報) 時 分
作成者	(名前) (所属) (連絡先)
作成日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分

提出先: スポーツ振興センター事務室 (総合体育館2階)

事故原因究明・再発防止策検討シート(別紙6)

(別紙6)

年 月 日

事故原因究明・再発防止策検討シート

スポーツ振興センター長 御中

所属

氏名

事故発生日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分
事故発生場所	施設名(住所)、発生場所
事故の内容	事故の詳細、経緯 負傷者の有無、程度 負傷者(有・無) → 有の場合、()名
事故の経緯	(事故発生) ※「いつ、どこで、誰が、どうした」を明記すること (発見) (通報)
原因	
再発防止策	
コメント	

提出先: スポーツ振興センター事務室 (総合体育館2階)

原因究明・再発防止策の検討

検討項目

1. 事故原因の分析
 - ・ 直接的原因の特定
 - ・ 間接的要因の洗い出し
 - ・ システム的問題の検討
2. 再発防止策の立案
 - ・ 具体的な改善措置
3. 関係者への周知
 - ・ サークル内での情報共有
 - ・ 類似事故防止の徹底
 - ・ 練習内容の見直し

施設・設備に起因する事故への対応

事故の原因が施設・設備にある場合

- ・ スポーツ施設補修申請書(別紙3)を提出
- ・ 類似事故防止のための使用制限検討
- ・ 他のサークルへの注意喚起

スポーツ施設補修申請書(別紙3)

(別紙3)

年 月 日

スポーツ施設補修申請書

スポーツ振興センター長 御中

所 属

氏 名

下記の補修を依頼致します。

施設名	補修依頼箇所
状況	

スポーツ振興センター記入欄

管財課 意見

補修発注者		補修発注日	
補修業者名		補修予定日	
		補修完了日	

提出先：スポーツ振興センター事務室（総合体育館2階）

10. 研修について

安全管理研修

研修名	対象者	頻度	内容
UNIVAS安全管理セミナー	主将・主務(必須) 指導者(推奨)	年1回	<ul style="list-style-type: none">安全管理の基礎事故対応への対応リスク管理
ハラスメント防止研修	主将・主務(必須) 指導者(推奨)	年1回	<ul style="list-style-type: none">ハラスメント防止適切な指導関係相談窓口の紹介

事故事例の共有

共有される情報

- 学内事故発生状況:前年度の事故統計・傾向分析
- 競技団体情報:全国的な事故事例・安全対策他
- 学内事例:類似事故の発生状況・対策事例
- 季節別注意事項:時期に応じたリスク情報

ハラスメント防止

適切な指導関係の維持

- 人格を尊重した指導
- 過度な身体接触の回避
- プライバシーの配慮
- 公平・公正な対応

相談窓口

相談窓口	連絡先	対応内容
学内ハラスメント相談室	大学公式サイト	学内でのハラスメント相談
UNIVAS相談窓口	UNIVAS公式サイト	大学スポーツに関する相談

お問い合わせ

熊本学園大学 スポーツ振興センター

📞 096-364-8732

✉️ sports@kumagaku.ac.jp

⌚ 平日 8:45~17:15 (昼休み12:30~13:30を除く)